

荒 神 社

(こうじんじゃ)



<概要>

泉永寺のすぐ東隣に、荒神様（かまどの神様）をまつた荒神社があります。境内には、祠（ほこら）と常夜灯があり、境内はいつも美しく掃除がされています。明治41年に、政府の方針により素鷲神社に合祀され、その後、現在の場所に移転復帰しました。記録によると、大正9年に神輿を新しく作った際、道が狭く通りにくいので、現在の場所に移転したとも伝えられていますが、いつ頃行われたかははっきりしません。

今の鳥居は、昭和55年に新しく建てられました。



<荒神様について>

一般的には、火の神、土の神を荒神様と呼んでいますが、地域の守護神としておまつりしているところもあるようです。荒神様は、家屋敷を守る神様として、強い霊力で悪魔をはらい、よい心がけをしている者を助けると信じられています。しかし、神様を信じないで、いいかげんな生活をしている者を罰するとも信じられています。

参考文献

「和泉郷土誌」（昭和62年 和泉郷土誌編集委員会）

「たちばなの郷」（平成15年 郷編集委員会）